

## 相撲碑（墓）



小車利助の碑



千歳川浅吉の墓



玉川の墓



白鳥の碑



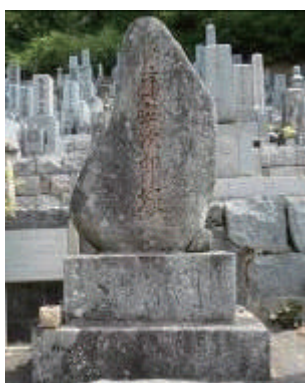
里鳥塚



山鳥塚



大江山作平の墓



豊嶋安次郎の塚



錦山塚

- 玉川の墓（国道四二三号線牧の久保川の側）
  - 千歳川浅吉の墓（妙見山頂駐車場の北側墓地内）
  - 小車利助の碑（川尻から高山へ通じる道路を少し入った北摂信愛園の裏側）
  - 山鳥塚（切畑風上地区の地藏石仏へ至る途中の辻）
  - 里鳥塚（切畑中の東地区内墓地入口）
  - 白鳥塚（切畑の個人敷地内）
  - 錦山塚（府道一〇九号線切畑口）
  - 豊嶋安次郎の塚（切畑の法性寺墓地内）
  - 大江山作平の墓（木代崩尻の希望ヶ丘住宅地の入口）
- などは、ともに相撲力士の碑で、当地では大阪藤嶋内の絹川親方に属するものが多いが、玉川・千歳川は絹川親方には属していなかった。しかし、いずれにせよこれらの碑は、門弟達が建立したものである

玉川の墓、千歳川浅吉の墓、小車利助の碑、山鳥塚、里鳥塚、白鳥の碑、錦山塚、豊嶋安次郎の塚、大江山作平の墓

## 能勢石の由来



能勢の石は約八千万年前に形成された花こう岩体のまわりに分布します。現在この探石場(たんせきば)の石は真砂土(まさつち)の中に玉石となつて産しますが、もともとは石のまわりの真砂土も石だったので、それが長い年月の間に玉ねぎの皮がむけるように節理にそつて(岩石の規則的な割目)風化が進み玉石となつたのです。能勢の石は花こう岩の仲間ですが正式には石英せん緑岩と呼ばれます。花こう岩にくらべ正長石が少なく、鉄に當む黒雲母、角せん石のほか花こう岩にはまれな輝石(きせき)が入っています。石英は他の鉱物のすきまをうずめるように産し、鉱物どおしがつちり組みあわさっているため石はしなやかで割れにくく、また角せん石などの有色鉱物が多いため、重くて研磨によるつや出し効果が大きい特徴をもっています。

(神戸大学 田結庄良昭先生からの説明)

